

ピカいち!!のまちづくり

林いさお通信

No. 105

討議資料

今年の10大ニュース

林いさお後援会

平成25年12月



2年間の指定管理が決まった「ふれあいセンター」

第9回12月定例会が11月28日から12月9日までの会期で開催されました。本会議では、(仮)第3公民館・学校給食センター建設請負契約の締結など11件の議案が可決されました。また、第二保育所耐震補強工事の変更請負契約の締結についての議案は、18日開会の臨時議会にて再上程されました。

(仮)第3公民館・学校給食センター

新施設いよいよ着工へ

★主な議案等

- (仮)第3公民館・学校給食センター建設工事請負契約の締結について
一般競争入札により請負契約が締結しました。契約金額が、17億9720万6400円、工事場所が三芳町北永井中ノ原348番地2ほか2筆、工事期間が契約確定日から平成26年12月20日まで。供用開始は平成27年4月を予定。
- 第4次総合振興計画(基本構想)の変更について
土地利用方針の緊急性の高いものについて見直し案が可決されました。新たにみどり共生産業ゾーン、景観形成ゾーンを設定、自然環境保全ゾーンのエリア修正も行われました。今後説明会を予定。

- 三芳町水道事業給水条例の一部を改正する条例

主な補正予算

一般会計補正予算第10号は可決され歳入歳出の総額123億2961万6千円となりました。

- 集会所整備事業、維持管理事業 上富1区空調機更新、みよし台1区・竹間沢1区雨漏り修繕…1,140千円
- 老人福祉センター耐震診断委託料…3,694千円
- 家庭保育室委託料扶助費…3,736千円
- 土地区画整理事業保留地取得費…47,400千円
※富士塚土地区画整理事業における保留地(第1保育所、藤久保児童館等)を購入するため

水道事業は、企業努力を重ねてきましたが運営が厳しくなってきました。今回、水道審議会からの答申を受けて、水道料金の改定が可決されました。

●老人福祉センターふれあいセンター指定管理者の指定
平成26年4月1日から28年3月31日まで社会福祉協議会が指定管理者となりました。



チエロと車人形の夢の響演が行われた

芸術文化懇談会

三芳町では、芸術文化の香るまちづくりを目指しています。現在、芸術文化懇談会、政策研究所芸術文化プロジェクトチームで今後の芸術文化政策について研究しています。三芳町の

限られた財源・資源の中で、地域特性を生かした文化や芸術をいかに創造・展開していけるかが目的です。

三芳町には、車人形や神楽・お囃子などの伝統芸能があり、また学校でのアウトリーチ事業、コピスみよしや竹間沢マンスリースクエアなどによる良質な芸術も提供いただいています。こうした芸術文化がさらに創造発展することを願っています。

今年、コピスみよしのロビーコナサートが、庁舎、議場、町内病院等で開催され、大変好評でした。

編集後記

古代から帝王学の書と言われる『易経』。難しそうですが、結構面白いです。

易経には六十四の卦がありますが、その最初に龍の話が出てきます。これは君子のあり方を龍になぞらえて教えています。その中に

『君子終日乾乾し、夕べに惕若たり。厲うけれども咎なし。』

とあります。
「君子終日乾乾」は、「朝から晩まで一日中、前向きに積極的に努力して進んでいく」という意味です。そして、「夕べに惕若たり」とは、「夜になったら

今日はこれでよかったのか、あれでよかったのか恐れるが如く省みなさい」という意味です。そうすれば危うけれども大きな問題にはならないと言います。

今年も残すところ数日となりました。新年を迎えるにあたり、今年一年を振り返り、「惕若」恐れるが如く省みたいと思います。

林いさお町政報告会

町政報告、質問交換会

2月9日(日)

午後2時

コピスみよし

※参加自由、質問交換会の

会費1000円



絵・長女 瑛子

★林いさお後援会事務所
電話 049-259-2228
FAX 049-258-0968
〒354-0045 三芳町上富1003
林いさお
オフィシャルウェブサイト
<http://www.isao.bz/>

25

『三芳町10大ニュース』

今年もあと僅かになりました。今年1年を振り返り平成25年度の「三芳町10大ニュース」を選んでみました。

① 13年ぶりに交付団体に

普通交付税不交付団体から13年ぶりに交付団体になりました。リーマンショック以降税収が回復せず、財政が硬直化してきています。こうした中、補助金の公募制、新しい行政評価制度の導入、老朽化した公共施設等の維持管理などのマネジメントの基本計画を策定しています。脱財政硬直化宣言を発し、行財政改革と税源確保に取り組み、14の行政連絡区でまち

づくり懇話会を開催し説明させていただきました。

② 富士塚土地区画整理事業開始

富士塚土地区画整理事業の起工式が10月7日執行行われました。5年余りの準備委員会を経て、今年3月2日に埼玉県から認可をいただきました。今回の区画整理事業は、プロポーザル方式による業務代行方式で実施します。その結果、3年間で竣工し、

住民の皆さんが望んでいる鶴瀬駅から川越街道までの鶴瀬駅西通り線が開通することになります。

③ 仮第3公民館・学校給食センター着工へ

(仮)第3公民館・学校給食センターがいよいよ1月から着工されます。建物の左が公民館、右が給食センター(イメージ図)。建物は一体化していますが完全に分断されています。衛生、安全面を第一にした設計となっています。

施設の概要は、公民館は多目的ホール、サテライト図書館、学習コーナー、子育てフリースペース、音楽スタジオ、会議室、キッチンスタジオ。給食センターには、見学スペースや体験学習コー

ナーもあります。27年4月供用開始予定。

④ みよし野菜ロゴマーク決定

三芳町では、みよし野菜のブランド化に向けて、ロゴマークや幟の作成、池袋や丸の内でのPR活動などを行っています。9月19日、みよし野菜ブランド化推進研究会の皆さんと上田清司知事を表敬訪問し、ブランド化推進事業の進捗状況の報告と収穫の始まった「富の川越いも」を持参させていただきました。

⑤ 三富新田世界農業遺産へ

5月30日、石川県能登で開催された世界農業遺産国際会議に参加。世界農業遺産は、伝統的農法、それに



①まちづくり懇話会で説明(6月)



②富士塚土地区画整理事業スタート(10月)



③公民館・学校給食センター着工(来年1月)



④埼玉県上田知事にPR(9月)



⑤世界農業遺産世界会議参加(5月)

関連する文化、風習、景観と生物多様性に富んだ、世界的に重要な地域を次世代に継承するため、国連食糧農業機関(FAO)が平成14年に創設。日本の里100選に選ばれた三富新田の循環型農業は、世界農業遺産としての価値もあるとの有識者からの指摘もあり、今後の三富の保全も含め申請に向けて準備スタート。

⑥ 小中学校耐震化工事完了

三芳町公立学校施設耐震計画に基づき、平成19年から安全・安心な学校づくりを目指して、学校施設の耐震化を進めてきました。本年、竹間沢小学校体育館、上富小学校の校舎、体育館の耐震補強工事が完了し全校の工事が無事終了しました。



⑥耐震補強工事完了



⑦大熊町の帰宅困難区域を視察(10月)



⑧MYT48ウニクスで共演(9月)



⑨映画『三芳物語』上映(6月)



⑩子ども大学みよし修了式(11月)

⑦ 大熊町に保健師派遣

当町は、埼玉県市町村助け合い制度で福島県大熊町とパートナーになり、保健師を派遣しています。10月、大熊町を訪問。大熊町役場職員により、帰宅困難区域にご案内いただき、津波の被害を受けた福島原子力発電所から500メートルにある県栽培漁業センター、大熊町役場、そして、除染が始まった居住制限区域などを視察しました。一日も早い帰還を願うと共に引き続き支援をしていきたいと考えます。

⑧ MYT48 プロと共演

9月28日、第3回ロビーコンサートがウニクス三芳で開催されました。サクソフォン奏者の福井健太さんと三

芳町の三中学校の吹奏楽部の生徒が共演しました。MYT48とは、ちょうど生徒が48人ということもあり、MIYOSHITOWN48から命名しました。ウニクスには600人を超える観衆が来場。芸術文化の広がりを願っています。

⑨ 映画『三芳物語』上映

映画『三芳物語』が完成しました。コピスみよし創立10周年を記念して、映画を通して町の魅力を内外に発信し、映像制作者表現者を発掘育成することを目的にした町民参加型の文化芸術創造プロジェクトです。40名近い住民の皆さんが、映画を作成する過程に参加し、新たな映画の魅力を発見されたものと思います。第2弾が始まっています。

⑩ 子ども大学みよし修了式

子ども大学みよしの修了式が開催されました。町内5校の小学校から4〜6年生43名が参加。淑徳大学や大崎電機、木村屋総本店など大学の先生や地元企業で活躍する専門家から5回の講義を受けました。入学式に比べたくましく成長していました。出会いを大切に、これからの学校生活に活かしていただきたいと思います。

なお①～⑩は、⑪ふじみ野市三芳町環境センター竣工、⑫図書館貸出冊数第1位⑬みらいくん、のぞみちゃんぬいぐるみ販売⑭広報みよし全国3席受賞⑮観光情報サイト開設⑯ジュニアハンドボール教室開催⑰消防本部落成⑱中学生海外派遣マレーシアに実施⑲三芳茶業農家農林水産大臣賞受賞⑳世界一のいも掘りまつり開催